区政のここをきく

一般質問要旨

JR日暮里駅の改修と教育についての課題を問う

茂木　弘（自民党）

JR日暮里駅の改修に際し区の見解を問う

問　JRの東北縦貫線開業が来年度に迫っている。常磐線の南千住、三河島、日暮里駅等区内の駅が停車駅になるかどうかは区民の利便性、経済、街づくり等あらゆる面で大きな影響を及ぼす。区内の駅への停車をJRに強く働き掛けてほしいと考えるが、見解を問う。

答　東北縦貫線の常磐線区内3駅への停車については、当該地域の利便性を大きく向上させるもので、区のポテンシャルを高められると認識している。具体的な輸送計画やダイヤ等が編成される前に、あらゆる手段を駆使してJRへの働きかけを、より一層強化していく。

問　日暮里駅に架かる紅葉橋は老朽化がひどく、補強工事した部分のパイプはみすぼらしく危険な感じを強く受ける。一日も早く架け替えてほしい。架け替えに当たっては、応分の負担をJRに求めることも当然と考え、強く働き掛けてほしいと考えるが、見解を問う。

答　緊急性を要する老朽化した街路灯や高欄、床板等の補修工事はJRと共同で行う。また、橋の架け替えについては、JRの事業と一体化した効率的な整備に向け、より一層協議を深めていく。

教育についての課題を問う

問　タブレットパソコン導入に期待しているが、費用や基礎的学力への影響などの心配がある。教員の研修、資質向上も大事であり、本格実施前の検証を強く要望する。導入の経緯を含め、ICT教育推進に対する考えを問う。

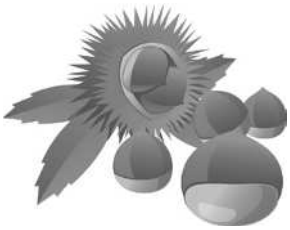
答　電子黒板配備やデジタル教科書配信などの取り組みを踏まえ、さらに分かりやすい授業を追求し、子どもが主体的に学習する力の育成のため導入することとした。効果的な活用方法、教員の指導方法等を分析し、きめ細やかな検証を実施する。国庫補助金など財源の確保や経費縮減にも努力する。

問　学校教育の基本は、「読み・書き・計算」である。小中学生の時期に徹底して基礎基本の学力を身に付けることが大切であり、一人ひとりに授業内容が分かる環境を整えることが重要だ。各学校で補習が実施できるよう財政面や人材確保の面で支援してはどうか。

答　学力向上マニフェスト予算の活用により、各学校でそれぞれ工夫し補充学習に取り組んでいる。全校での補充学習の準備を進めており、今後、校長会とも調整を図りながら、財政面や人材確保の面での支援策について検討を進める。

問　子どもの豊かな心を育てていくには、野外活動を含む自然体験や地域社会を活動の場とする社会体験などの体験学習が重要と考える。また、区内の少年育成団体は構成員の減少、後継者や活動資金に苦労している。区として支援を積極的に進めるべきではないか。

答　職業体験、ボランティア体験、合宿通学等の取り組みを行っており、今後、体験活動のさらなる充実に努めていく。体験学習の機会を提供するには、民間団体とより一層の連携が重要であり、引き続き支援に努める。



その他の質問項目

○来年度予算編成の基本的考えについて
○公共施設老朽化対策に関係して
○田野畑村との連携について

繰り返される増税と負担増から区民生活を守る対策・支援強化と子どもの格差と貧困の連鎖を断ち切るために

小林行男（共産党）

繰り返される増税と負担増から区民生活を守る対策・支援強化を

問　増税分を社会保障の財源に回すという一体改革の口実は既に崩壊している。消費税増税と社会保障の一体改革での負担増と給付削減に反対することを求める。

答　社会保障制度改革国民会議最終報告書では、持続可能な社会保障制度を実現するために、税や社会保険料等の国民の負担は避けられないとしている。関連法案の成立を注視し、適切に対応していく。

問　子ども・子育て支援新制度の内容と問題点の早急な周知と、子ども・子育て会議は、公開で区民公募と関係事業者が参加できるようにすることを求める。

答　子ども・子育て支援新制度の内容は適宜適切に、区民への周知に努める。子ども・子育て会議は公開を原則とした条例案を上程し、公募を含めて学識経験者や保護者、事業者から選定する予定である。

問　生活保護法改正案は申請権・受給権をはく奪するもので再提出に反対すべき。また、8月から実施している生活保護基準見直しは、受給者の生活を脅かすので引き下げを止めるよう働きかけるべき。

答　生活保護法改正案は、次期国会への法案再提出等、動向を注視していく。生活保護基準の見直しは、必要な適正化を図るため、厚生労働省が決定したものである。

子どもの格差と貧困の連鎖を断ち切るために

問　タブレットパソコン導入の費用は、単年度で8億円かかる。しっかりとした検証を行ってから方向性を決めるべきで、タブレットパソコンの全児童・生徒への配備を見直すことを求める。

答　今年度モデル導入した学校で、効果を様々な角度から検証する。国の補助事業等への参加を含め、経費縮減等の検討を十分行い、来年度の全校導入への準備を進める。

問　教材教具等への保護者負担は大きな額になっている。負担の軽減や貧困の連鎖防止を優先させることを求める。

答　学校として使用するものは公費負担とし、専ら個人が使用するものは保護者負担としている。経済的に就学が困難な家庭には、就学援助等の支援をしている。

問　非婚の母子世帯にもみなし寡婦控除を実施することで、保育料等の軽減を図ることを求める。

答　寡婦控除をみなし適用するためには、対象者をどのように把握するかなどの課題がある。課題を整理し、他自治体の動向も踏まえ、実施の可否も含め検討する。

その他の質問項目

○まちづくりと住宅対策について
○公共建築物の老朽化対策と工事の質の確保について
○平和行政の推進について

各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録ができしだい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。
また、荒川区議会ホームページ(http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/)で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。
あわせてご利用ください。

第3回定例会日程

9月9日　本会議
9月10日　震災対策調査特別委員会
9月11日　本会議　決算に関する特別委員会
9月12日　総務企画委員会　福祉・区民生活委員会
9月17日　文教・子育て支援委員会　建設環境委員会
9月19・20・25・26・27日　決算に関する特別委員会
9月27日　本会議
9月30日・10月1・3日　決算に関する特別委員会
10月7日　議会運営委員会
10月8日　本会議